

審議会会議録

1	会議の名称	令和元年度第4回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和元年11月26日（火） 午後2時～午後2時33分
3	開催場所	富津市役所本庁舎5階 504会議室
4	審議等事項	第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント案について
5	出席者名	○出席委員 三木照恵、石井愛子、宮原俊一、諏訪智子、榎本信弘、君塚善恵、江澤恵、オノミチ三由紀、平野英男、河野信成 ○事務局 島津健康福祉部長、中山子育て支援課長、澤邊子育て支援課長補佐、榎本子ども家庭係長、若松主任主事、山口健康づくり課主任保健師
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

令和元年度第4回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：若松	<p>○資料の確認</p> <p>資料1：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画【素案】 (パブリックコメント案)</p> <p>資料2：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画(素案) に係る意見等について</p> <p>資料3：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画(素案) からの追加、修正等一覧表</p> <p>机上配付：辞令、次第、委員名簿、座席表</p> <p>その他：「富津市子ども・子育て支援事業計画 第Ⅰ期～い いじゃないか!ふつつ～」、「第Ⅱ期富津市子ども・ 子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書」</p> <p>○会議の成立</p> <p>本日は、15名の委員のうち、過半数の10名の委員が出席して おり、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定 により会議が成立している旨を報告</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により公開 傍聴人は0名</p> <p>○開会</p> <p>○委員及び事務局職員紹介</p>
事務局：中山課長	<p>新任委員、再委嘱委員及び事務局職員の紹介</p>
宮原委員	<p>○新任委員挨拶</p> <p>今まで鴨川市から千葉、東京までの高速バスをメインに業務 を担当しており、公共交通の観点から、また労働者の立場から、</p>

発言者	発言内容
事務局：若松	<p>会議においてコメントできればと考えている。</p> <p>○議長について</p> <p>富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第1項において、会長が議長となることとなっており、平野会長におかれては、改めてご挨拶を頂戴した後、議事の進行をお願いします。</p>
平野会長	<p>○会長挨拶</p> <p>本日も、お忙しい中、本会議に出席いただき感謝申し上げます。早いもので、今年も残すところあと1ヶ月ちょっとという時期となった。朝晩に関しては、暖房器具がないと厳しい状況が続いているが、今後も師走に入って更に冷え込みが厳しくなってくると思うので、体調を崩されることなく、温かくして過ごしていただければと思う。</p> <p>今日の会議に関しては、今年度第4回目となり、子ども・子育て支援事業計画改定に向けて大詰めに入ってきている。また、今後の会議の回数も限られている。今日の議題は、パブリックコメント案の1件であるが、質問の幅や枠が多少広がっても構わないので、これまでの会議をとおして今一度確認したい内容であったり、委員それぞれの立場から率直に気になっていることや申し添えたいことを議論の場に挙げていただければ幸いに思う。</p> <p>先ほども申し上げたが、会議の回数が限られており、本日の会議も充実した内容にしたいと思うので、御協力をお願いしたい。</p>
平野会長	<p>○会議録署名委員の指名</p> <p>私のほか、本日は諏訪委員をお願いします。</p>

発言者	発言内容
	<p>方策」(=いつどのくらいサービスを提供するのか、事業を実施するのか)について定めています。」と改めた。</p> <p>資料2にお戻りいただきたい。</p> <p>No. 2のP51「(5) 外国につながる幼児への支援・配慮」について、『外国人住民の子育て支援及び受け入れ支援・連携について、市としては、どのようなサポートをしているのか』との質問があった。</p> <p>これについては、多言語に通じた人、バイリンガルの人を市の職員として雇っているわけではないため、既に市内に住んでいる方で、同じ言語を話す方を支援者として見つけ、その方を介して、いろいろな情報提供をしたり、困りごとがないかということ把握して、繋ぐように努めていると回答するものであり、素案の修正は特にない。</p> <p>No. 3のP55「2 乳児期・幼児期」について、『0歳から1歳までの間に毎月1回葉書がお母さん宛てに届くサービスについて支援センターからの発信でイベントを載せてもらえるとよい』との意見があった。</p> <p>これについては、葉書で行うのか、メール等で行うのか、媒体は検討し、お子さんの月齢に合わせた内容で情報発信ができたらいとと考えており、子育て情報の発信事業の実施に当たって参考とさせていただくと回答するものであり、素案の修正は特にない。</p> <p>No. 4のP55「2 乳児期・幼児期」について、『各事業の存在を知らないで、不安の中育児をしている方もいるのではないかと推測すると、そのような方たちをどのように支援するかということが課題になる』との意見があった。</p> <p>これについては、乳児家庭全戸訪問事業では、お子さんが生まれたら、保健師等が必ず訪問し、お子さんやお母さんの状態をみて、気になるご家庭ではないか確認しており、また、子育て</p>

発言者	発言内容
	<p>て応援ガイドブックを配布したり、ホームページ、ブログ等を活用し、情報発信に努めていくと回答するものであり、素案の修正は特にはない。</p> <p>No. 5 の P 55 「2 - 4 離乳食教室」について、『ベビーフードとの付き合い方を教えていただければ嬉しかったということがあったので、提案させてもらいたい』との意見があった。</p> <p>これについては、ベビーフードの活用方法に関して、担当する管理栄養士に話を伝えたいと思う。素案の修正は特にはないが、子育て支援課として、地域交流支援センター事業の実施に当たって参考にしていきたい。</p> <p>No. 6 の P 55 「2 - 9 ブックスタート事業」について、『ブックスタート事業であるが、現在行っているのか』との質問があった。</p> <p>これについては、ブックスタート事業は4か月児教室に合わせて行っていると回答するものであり、素案の修正は特にはない。</p> <p>No. 7 の P 57 「3 学齢期・思春期・活動期」について、『各事業をどれくらいの頻度で実施していくのかを記載することで、計画における事業の見え方が変わってくるのではないか』との意見があった。</p> <p>これについては、利用者の実際の行動に結びつくような記載の方法に関することであると思うので、計画を実際の事業に結びつける上では有効と考え、主なものの開催回数等を記載することとした。</p> <p>具体的には、資料1の54ページから62ページをお開きいただきたい。</p> <p>各事業の表の右から2列目の「事業内容」欄中において●で表記し、平成30年度の事業の開催回数、実施日数等を掲載することとした。これは、事業によって開催回数が異なっていたり、今後の回数等が未定な事業もあるため、平成30年度実績を記載</p>

発言者	発言内容
	<p>することとした。意見にあった事業に対しての見え方ということでは、今後も実施事業については様々なツールを用いてPRに努めていく。</p> <p>No. 8のP57「3-3 教育相談事業」について、『いじめ・不登校・引きこもり関係について、学校の中での相談のほか、SNSでも相談を受け付けているかと思うが、それ以外の受付方法、例えば市役所の相談窓口等はあるのか。SNSや電話以外の相談方法を工夫して欲しい』との意見があった。</p> <p>これについては、市の教育センターでも電話やメールによる受付を実施しており、それ以外についても今後検討いたしていくと回答するものであり、素案の修正は特にない。</p> <p>No. 9のP58「3-11 放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）」、「放課後ルーム（放課後子供教室）」について、『放課後の児童の居場所に関する事で、家に帰れるまでの時間帯をスポーツに充てる形で関わっていければ、もっと活発になるのかなと思った』との意見があった。</p> <p>これについては、スポーツ少年団や地域でのスポーツ活動との連携に関しては、放課後子供教室で地域にいるスポーツの指導者等の力を借りて、これから居場所をつくっていったらと考えていると回答するものであり、素案の修正は特にない。</p> <p>また、前回会議では、No. 10『何か困ったことがあったときに相談先として「子育ての話 何でも聴きます窓口」の周知を図るとよい』との意見があった。</p> <p>これについては、子育て情報の発信事業の実施に当たって参考とし、周知を図っていくと回答するものであり、素案の修正は特にない。</p> <p>以上のほかに、前回会議からの間で時点修正等行ったものについて、資料3「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（素案）からの追加、修正等一覧表」としてまとめている。</p>

発言者	発言内容
	<p>資料3をご覧いただきたい。</p> <p>左から2列目に修正のあった素案のページ数を、その右の列に現行（修正前）の内容を、右から1列目には、修正後の内容と修正理由を記載している。</p> <p>No. 1の7ページ「2-2 将来人口の見通し」について、資料1の7ページをお開きいただきたい。</p> <p>下の「図 人口の将来展望（資料：富津市人口ビジョン2040に係る現状分析）」を追加した。これは、赤色や黒色の国立社会保障・人口問題研究所の推計に対し、本計画や富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みを進め、青色の富津市推計のように減少を緩やかなものにしようという将来展望である。</p> <p>資料3にお戻りいただきたい。</p> <p>No. 2として、29ページ「（4）相談する機会や相手がない人がいる」を「（4）相談できる環境の整備」とし、分かりやすい表現に修正した。</p> <p>No. 3の31ページ「3-1 計画の基本理念」であるが、次期総合戦略が改訂されるため、それに合わせて下線の箇所を修正した。具体的には、「基本目標3」を「基本目標1」に、「出産、子育てしやすい環境の整備」を「安心して出産、子育てできる環境を整える」に、「教育環境の整備」をそれぞれ「教育環境を整える／整えます」に、修正した。</p> <p>No. 4の50ページ「（1）目標事業量及び実施計画について」の表2行目、No. 1の放課後ルームの増設について、「1か所」を「3か所から1か所増設 ⇒ 4か所設置」とし、分かりやすい表現に修正した。</p> <p>No. 5の58ページ「3 学齢期・思春期・活動期 （1）学校教育の推進と地域社会の連携」について、通番3-16として、「児童・生徒歯科指導【新規】 小・中学生に対する歯科</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>保健指導や小・中学校養護教諭に対する歯科指導教育を行う。」を、新規事業のため追加した。</p> <p>以上で、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画パブリックコメント案についての説明を終える。なお、本日委員の皆様へに審議いただき、パブリックコメント案として了承いただいたら、12月下旬から1か月間、パブリックコメントを実施する。パブリックコメントで頂いた意見とそれに対する市の考え方については、会長に相談させていただき、その結果によっては、予定していた会議以外にも子ども・子育て会議の開催を考えている。</p> <p>○意見・質疑</p> <p>今事務局から説明があったが、皆さんから了承をもらったら、この後パブリックコメントにかけることとなるが、本日示された案をもってパブリックコメント案としてよいか、これから皆さんに採決をしていただくことになる。</p> <p>そのため、冒頭の挨拶でも言ったが、多少質問の幅が広がっても構わないので、これまでをとおして今一度確認したいこと、申し添えたいこと、率直に疑問に思っていること等を挙げていただければと思うが、意見、質問等はあるか。</p>
榎本委員	<p>病後児保育について、令和2年度から始まる地域交流支援センターで実施するとあるが、保育園に入っているお子さんの病後児保育をしてほしいとして、センターに連れてきてもよいか。</p>
事務局：中山課長	<p>保育園に現在行っているお子さんの中で、通われている保育園では当初保育が難しいのではないかと言われたお子さんについて、連れて来ていただく必要はあるが、地域交流支援セン</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>ターの病後児保育を利用していただくことは可能である。</p> <p>他に特に質問がないようであれば、今の議題について決を採りたい。</p> <p>事務局の示した案をパブリックコメント案とすることに賛成の方の挙手を求める。</p> <p>(委員全員が挙手)</p>
平野会長	<p>挙手全員である。よって、事務局の示した案を第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画のパブリックコメント案とする。</p>
平野会長	<p>○その他</p> <p>議題は以上となるが、委員の皆さんから他に何かあるか。</p> <p>(特になし)</p>
平野会長	<p>事務局から何かある。</p>
事務局：若松	<p>第5回富津市子ども・子育て会議の開催を来年2月に予定している。会議の開催日時等については、後日改めて通知する。</p>
平野会長	<p>本日の日程はすべて終了した。</p> <p>以上をもって、令和元年度第4回富津市子ども・子育て会議を閉会とする。</p> <p>午後2時33分 閉会</p>